

写真でふりかえる 十勝この1年

2021年度は新型コロナウイルスの影響で、乳製品を多数仕入れる外食産業の低迷もあり、年末年始に生乳が供給過多に陥り、廃棄せざるを得ない恐れもあった。
十勝毎日新聞に掲載された写真（21年3月～22年3月）から1年を振り返る。



1 「メモロピーナッツのうた」誕生 落花生農家を応援

芽室町の落花生農家を応援しようと、テーマソング「メモロピーナッツのうた」が誕生した。（21年3月22日）

2 J A 帯広大正の大正長いも 20年産の輸出過去最高へ

J A 帯広大正が生産する「大正長いも」の20年産輸出量が過去最高に。主力先の台湾やシンガポールの取扱量が拡大し、取引価格が安定してきたことが要因。（21年6月7日）

3 十勝農協連が新ビルの建設に着手 来年11月完成

十勝農協連は帯広競馬場東側の共栄通側敷地内（帯広市西12南6など）に、農協連ビルを移転・新築する。22年11月完成予定。（21年7月27日）

4 朝取りコーン 夕方には首都圏へ J A めむろ

J A めむろとふたみ青果（釧路市）が、航空便を活用し朝に収穫したトウモロコシをその日のうちに首都圏で販売する取り組みを始めた。（21年8月16日）

5 北糖本別の生産終了へ 北見と道南2体制移行

北海道糖業は道内生産拠点の本別製糖所（本別町勇足）の砂糖生産を23年3月で終了すると発表。（21年8月31日）

6 下浦幌テラドス利用組合の 自走式ビート収穫機初稼働

下浦幌地区の畑作農家7戸でつくる「下浦幌テラドス利用組合」は、約1億円で購入した自走式のビート収穫機（ハーベスター）「テラドスT4-30」を初稼働させた。（21年9月1日）

7 音更で「笑顔」の畑アートお目見え

観光街道をPRする音更メロディーライン推進協議会メンバーの三浦農場で、収穫を終えた小麦畑の一部に、「笑顔」をテーマにした畑アートがお目見えした。（21年9月16日）

8 客室乗務員が農作業を支援 J A L と J A 道中央会が連携協定

日本航空とJ A 北海道中央会は、客室乗務員で構成する「J A L ふるさと応援隊」が道内で農作業を支援し、SNSで地域農業を発信していく連携協定を締結した。（21年9月29日）

9 畜大サークル「酪農どうでしょう」 就農の後押しに

帯広畜産大学の学生サークル「酪農どうでしょう」は、管内外の牧場見学をはじめ地域に積極的に出向き、酪農現場の実情について学びを深めている。（21年10月14日）